

平成30年度教育研究活動報告書			
氏名	灰谷謙二	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	修士(文学)	職位	教授
専門分野	日本語学(現代語)		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	日本語学概論、日本語学講義Ⅱ、日本語学講義Ⅳ、現代語学専門演習a、現代語学専門演習b、タイポグラフィ、尾道学入門、文章表現法入門、卒業論文(構想・準備)、卒業論文(制作)
大学院	日本語学特講、日本語学演習、日本音律特論、日本文学・言語文化総論、研究指導(論文指導)
II 研究活動	
現在の研究テーマ(3つまで)	
(1) 中国地方方言における伝播の整流と偏流 H25~27科研費基盤C一般 採択	
(2) 国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言の形成過程解明のための全国方言調査」参画	
(3) 『瀬戸内海言語図巻』の追跡調査による音声言語地図の作成と言語変容の研究 基盤研究B 研究代表者 友定賢治 研究分担者 2017-2021	
本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28(件数は追加可)	
H30 <論文> 海上ネットワークにおける言語伝播—半海半陸の環境がもたらす伝播のメカニズム—『方言の研究4』 特集方言研究のネットワーク 日本方言研究会編(共著)	
H27以前の主な研究業績(件数は追加可)	
(1) <論文> 「「田畑からの帰り道でのあいさつ」にみられる表現発想と都市化」『柳田方言学の現代的意義 あいさつ表現と方言形成論』ひつじ書房(H26/7)	
(2) <論文> 小津安二郎『東京物語』における尾道方言使用の意味 『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第12号 2013	
学会、所属団体における活動(本年度を含む過去3年間の研究業績) H28・H29・H30	
所属学会・所属団体 役職等と任期	
日本語学会・日本方言研究会(世話人外委員としての学会運営委員)・日本音声学会・広島大学国語国文学会(学会運営委員)	
IV 社会活動	
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況) (件数は追加可)	
(1) りじょう福祉会りじょう保育園理事	
(2) 広島大学非常勤講師	
(3) 広島女学院大学非常勤講師	
出前授業	2回 府中東10/24 五日市12/19
(公開講座・後援会・出前授業に関するもの、その他特記事項があれば記入)	
FMみはら 出演 9/13	